

以下1~3はお使いのPCからGoogle音声認識が利用できるか否かの確認になります。

1 パソコンがインターネットに接続しているか確認します。

Windowsの「設定」から「ネットワークとインターネット」を開きイーサネットが「接続済み」になっていることを確認します。

2 ブラウザー Google Chrome のアドレスバーに以下を入力します。

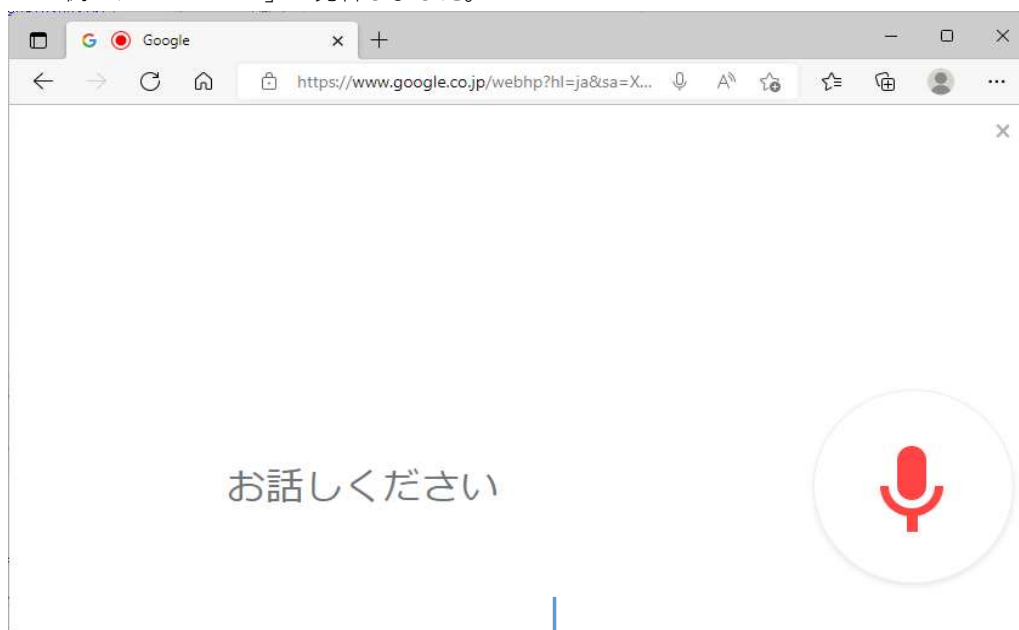
<https://www.google.co.jp/>

検索欄のマイクアイコンをクリックします。



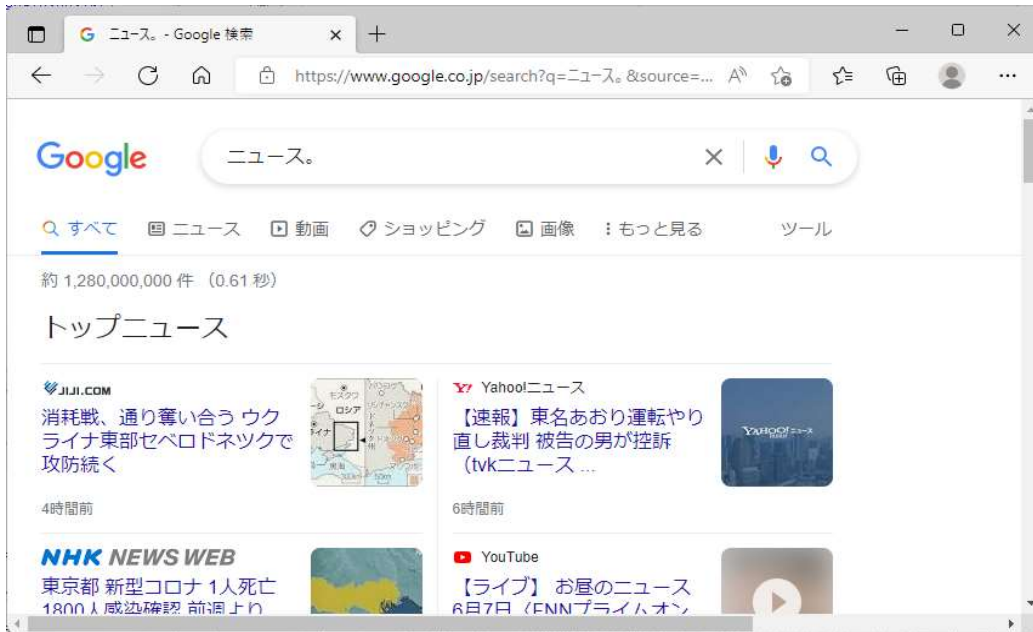
検索する単語を話します。

この例では「ニュース」と発音しました。

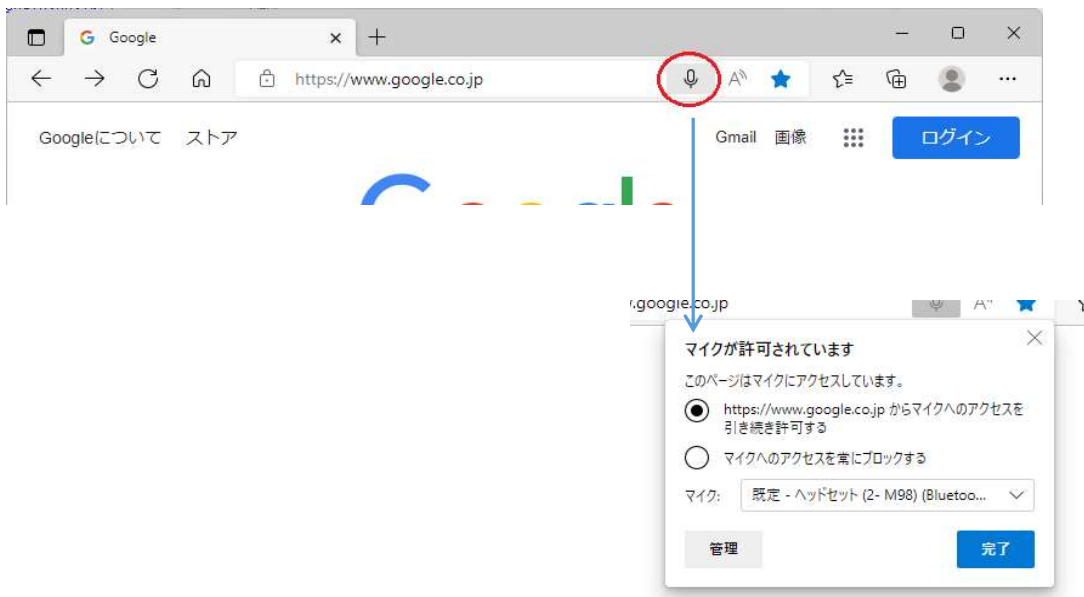




検索欄に「ニュース。」と入力されたら音声サーバーからの応答は正常です。
お使いのPCではGoogleの音声サーバーとの通信ができています。



もし、正常に入力と検索ができないようなら、アドレスバーの右のマイクアイコンをクリックして、マイクの使用が許可されているか確認します。



3 上記2. の検索ができないときは、ウイルス対策ソフトを一時的に停止してみます。

念のため、スマホのテザリングで接続をお願いします。

ウイルス対策ソフトの一部にはインターネットアクセスを監視する目的でブラウザーの要求をウイルス対策ソフト経由の通信に切り替えてサーバーへアクセスするものがあるようです。

このようなケースでは、音声サーバーへの通信がブロックされることがあるかもしれません。

これまでのところWindowsに付属のWindows Defender ではこのような問題は発生していません。Windows Defender でも市販のウイルス対策ソフトと比較して性能が大きく劣ることは無いようです。

4 テザリングで接続すると音声認識の応答があるのに、社内ネットワークでは動作しないケース

(1) Googleの検索画面が表示されない。

(2) Googleの検索画面は表示されるが音声認識の応答がない。

- ・社内ネットワークから外部へのアクセスが禁止されている職場では本ソフトは使えません。
- ・社内ネットワークとインターネットの間にプロキシサーバーが存在し、外部のサイトへのアクセスを特定のサイトだけ許可するように制限している職場

[プロキシの設定例]

社内ネットワークの管理部門に依頼して以下のドメインへのアクセスを許可してもらおうと音声認識が動作するようになる可能性があります。

.google.com

.googleapis.com

上のドメインはsquid のホワイトリストへ追加する際の例です。

先頭のドットはサブドメインを含めて許可することを示します。

ポート番号を指定する必要がある場合は 443 を設定願います。

以上